

芸術

(美術 I)

発 行 者			教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
番 号	名 称	略 称				
38	光村図書出版	光村	美 I 038-901	A 4 変型	132	令和 7 年
38	光村図書出版	光村	美 I 701	A 4 変型	124	令和 3 年
116	日本文教出版	日文	美 I 116-901	A 4 変型	153	令和 7 年
116	日本文教出版	日文	美 I 702	A 4	156	令和 3 年
116	日本文教出版	日文	美 I 703	A 4 変型	102	令和 3 年

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

美術 I		冊 数	5 冊
発行者の略称・教科書の番号	光村038-901 光村701 日文116-901 日文702 日文703		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【芸術の目標】

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【美術 I の目標】

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

【美術 I の内容及び内容の取扱い】

「内 容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
A 表現 表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 絵画・彫刻 絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想 (ア) 自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成すること。 (イ) 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ること。 イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能 (ア) 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。 (イ) 表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表すこと。	(1) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については、中学校美術科との関連を十分に考慮し、「A表現」及び「B鑑賞」相互の関連を図り、特に発想や構想に関する資質・能力と鑑賞に関する資質・能力とを総合的に働かせて学習が深められるようにする。 (2) 生徒の特性、学校や地域の実態を考慮し、内容の「A表現」の(1)については絵画と彫刻のいずれかを選択したり一体的に扱ったりすることができる。また、(2)及び(3)についてはいずれかを選択して扱うことができる。その際、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現と、目的や機能などを考えた表現の学習が調和的に行えるようにする。 (3) 内容の「B鑑賞」の指導については、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を配当するものとする。

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(2) デザイン デザインに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 目的や機能などを考えた発想や構想 (ア) 目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成すること。 (イ) デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ること。 イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能 (ア) 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。 (イ) 表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表すこと。 (3) 映像メディア表現 映像メディア表現に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想 (ア) 感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。 (イ) 色光や視点、動きなどの映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練ること。 イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能 (ア) 意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かすこと。 (イ) 表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表すこと。 B 鑑賞 鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 鑑賞 鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞 (ア) 造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。 (イ) 目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。 (ウ) 映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。 イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞 (ア) 環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、自然と美術の関わり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めること。	(4) 内容の〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力であり、「A表現」及び「B鑑賞」の指導と併せて、十分な指導を行い、各事項の実感的な理解を通して、生徒が造形を豊かに捉える多様な視点がもてるように配慮するものとする。 (5) 内容の「A表現」の指導に当たっては、スケッチやデッサンなどにより観察力、思考力、描写力などが十分に高まるよう配慮するものとする。 (6) 内容の「A表現」の指導に当たっては、主題の生成から表現の確認及び完成に至る全過程を通して、自分のよさを発見し喜びを味わい、自己実現を果たしていく態度の形成を図るよう配慮するものとする。 (7) 内容の「B鑑賞」の指導に当たっては、日本の美術も重視して扱うとともに、アジアの美術などについても扱うようにする。 (8) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、芸術科美術の特質に応じて、発想や構想に関する資質・能力や鑑賞に関する資質・能力を育成する観点から、〔共通事項〕に示す事項を視点に、アイデアスケッチなどで構想を練ったり、言葉などで考えを整理したりすることや、作品について批評し合う活動などを取り入れるようにする。 (9) 創造することの価値を捉え、自己や他者の作品などに表れている創造性を尊重する態度の形成を図るとともに、必要に応じて、美術に関する知的財産権や肖像権などについて触れるようにする。また、こうした態度の形成が、美術文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう配慮するものとする。 (10) 事故防止のため、特に、刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などを徹底するものとする。

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(イ) 日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから美意識や創造性などを感じ取り、日本の美術の歴史や表現の特質、それぞれの国の美術文化について考え、見方や感じ方を深めること。 〔共通事項〕 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 造形の要素の働きを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解すること。	

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第2章第7節第3款第1
b 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力の育成	学習指導要領第2章第7節第2款第4、2
その他の項目（各教科共通）	学習指導要領総則、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 各題材において、どのような資質・能力を育成できるか見取る。
 - ・ 生徒の特性、学校や地域の実態を考慮し、内容の「A表現」の(1)については絵画と彫刻のいずれかを選択したり一体的に扱ったりすることができる。また、(2)及び(3)についてはいずれかを選択して扱うことができる。そのため、より発展的な学習も視野に入れながら指導する題材等を見取る。
- b 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力の育成
 - ・ 造形の要素の働きを理解することや、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解することを扱っている内容を調査する。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 学習指導要領の中に、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成」が言及されているので、美術Ⅰでは各題材における資質・能力をどのように育成できるかという視点で質的に調査する。

- b 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力の育成
- ・ 学習指導要領（芸術・美術Ⅰ）の中で「内容の〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力であり、「A表現」及び「B鑑賞」の指導と併せて、十分な指導を行い、各事項の実感的な理解を通して、生徒が造形を豊かに捉える多様な視点がもてるように配慮するものとする。」としている。そのため、「A表現」、「B鑑賞」及び〔共通事項〕の指導を通して、生徒一人一人が、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を高め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わることができるようにする項目・題材などについて質的に調査する。

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取り扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	芸術
科目名	美術Ⅰ

発行者（略称）		光村
教科書番号		美Ⅰ038-901
教科書名		美術Ⅰ
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
【「表現」で感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想の題材】	・複数の題材において、写真にて参考作品や制作の様子及び手順が示されている。また、有名な作品や生徒作品を基に発想のヒントを示し、美術や作品における表現について自ら考えるための工夫が設けられている。	
【「表現」で目的や機能などを考えた発想や構想の題材】	・複数の題材において、写真にて参考作品や制作の様子及び手順が示され、ポスターやパッケージ等を取り上げることで、身の周りのものや社会の仕組みなどを中心に目的や機能を基に発想や構想を広げるための工夫がされている。	
【映像メディアの特性を踏まえ発想や構想の題材】	・複数の題材において、写真にて参考作品や制作の様子及び手順が示されている。ライブイベント、写真、アニメなど普段の生活の中で関りのあるものを取り上げ、表現の特性を踏まえ発想や構想を行うための工夫が設けられている。	
【美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞】	・「写真で表す」の題材では構図や光などを意識して撮影するための方法や作例を掲載し、作家の作品を基に作品に対して見方や感じ方を深める工夫が設けられている。	
【生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞】	・「社会の仕組みをデザインする」の題材では、社会の仕組みや課題を解決するデザインのプロセスについて紹介し、生活や社会の中の美術の働きや美術文化について考え、見方や感じ方を深める工夫が設けられている。	
b 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力の育成		
【造形の要素の働きを理解することについて】	・「グランド・ジャット島の日曜日の午後」の題材では、点描・色・構図など、造形の要素について紹介し、形や色彩、材料や光などの性質や、それらが人の感情にもたらす様々な効果などについて理解することを促す内容となっている。	
【造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解することについて】	・「北斎・広重から広がる世界」の題材では、ジャポニスムなど、浮世絵が国外の作家たちに与えた影響について紹介し、対象となるものの全体に着目して、作風や様式などの文化的な視点で捉えるということについて理解したりすることを促す内容となっている。	
《その他の項目》（各教科共通）		
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	P26「墨で描く」、P28「鳥獣人物戯画甲巻」、P35「北斎・広重から広がる世界」、P54「暮らしを豊かに彩る文様」、P96「日本画の絵の具で描く」、P127「日本と世界の伝統色」、P42・P46・P64・P76・P78美術史年表	
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし	
安全・防災や自然災害の扱い	p65「避難所用 紙の間仕切りシステム」	
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし	
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし	
(2) 構成上の工夫		
デジタルコンテンツの扱い	・二次元コードを配して、その題材についてさらに情報を得ることができるようにしており、紙面では伝えきれない情報量を効果的に追加している。	
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインについて紙面で紹介している。	

教科名	芸術
科目名	美術 I

発行者（略称）	光村
教科書番号	美 I 701
教科書名	美術 1
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【「表現」で感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想の題材】	・複数の題材において、多様な表現を取り上げるとともに、習作や制作のプロセスを紹介するなど、生徒自らが主題を生成したり、表現形式の特性を生かしたりする際に参考となる図版や写真を掲載するなどの工夫がされている。
【「表現」で目的や機能などを考えた発想や構想の題材】	・「メッセージを広く伝える」の題材では、伝える内容と表現方法の異なる複数のポスターを掲載することにより、デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練るための工夫がされている。
【映像メディアの特性を踏まえ発想や構想の題材】	・「テーマを決めて撮影する」の題材では、テーマを決めて複数枚の写真を撮影する表現方法について紹介し、感じ取ったことや考えたことなどを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成することを促す内容となっている。
【美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞】	・「墨で描く」の題材では、「表現のヒント」として筆の使い方や水の量の工夫による多様な墨の効果について掲載し、造形的なよさや美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考えることを促す内容となっている。
【生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞】	・ル・コルビュジエの生涯と作品に関する題材では、近代建築に影響を与えた作品を紹介し、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めるための工夫がされている。
b 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力の育成	
【造形の要素の働きを理解することについて】	・「風景を描く」の題材では、遠近法を用いて奥行きを表現するための工夫として「一点透視図法」を紹介し、造形の要素に着目し、その働きを捉えることができるように、形や色彩、材料や光などの性質や、それらが人の感情にもたらす様々な効果などについて理解することができるよう工夫されている。
【造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解することについて】	・「人を撮る」の題材では、対照的な二人の写真家を取り上げ、対象となるものの全体に着目して、造形的な特徴などからイメージを捉えることができるように、見立てたり心情などと関連付けたりするなど全体のイメージで捉えることについて理解することができるよう工夫されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	P10「柵や点で描く」、P12「墨で描く」、P15「絵巻物を楽しむ」、P21「葛飾北斎」、P23「組み合わせる」、P36「仏像の美」、P54「文様で飾る」、P64「ル・コルビュジエ」、P90「日本画の絵の具で描く」、P108美術史年表
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・二次元コードを配して、その題材についてさらに情報を得ることができるようにしており、紙面では伝えきれない情報量を効果的に追加している。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインについて紙面で紹介している。

教科名	芸術
科目名	美術Ⅰ

発行者（略称）		日文
教科書番号		美Ⅰ116-901
教科書名		新・高校生の美術Ⅰ
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
	【「表現」で感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想の題材】	・複数の題材において、参考作品や制作の様子とともに、制作意図や制作における視点などを示し、生徒が自ら主題に応じた表現の可能性について考え、個性を生かして創造的な表現の構成を練るための工夫がされている。
	【「表現」で目的や機能などを考えた発想や構想の題材】	・複数の題材において、写真にて参考作品や制作の様子及び手順が示されている。ポスターや文具、マークやサイン等を取り上げることで、身の周りのものやことを中心に目的や機能を基に発想や構想を広げられるような工夫が設けられている。
	【映像メディアの特性を踏まえ発想や構想の題材】	・複数の題材において、写真にて参考作品や制作の様子及び手順が示されている。写真やアニメなど普段の生活の中にある身近なものを取り上げ、身近の題材において、表現の特性を踏まえ発想や構想を養う工夫が設けられている。
	【美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞】	・作家探究の「アルヴァ・アアルト」や「ソール・ライター」では作家の作品における鑑賞の観点や工夫を示し、作家の作品を基に作品に対して見方や感じ方を深める工夫が設けられている。
	【生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞】	・「日常にあふれるデザイン」では、飾る・伝える・使う・環境の4つの視点から鑑賞の観点や工夫を示し、身の回りのデザインを基に生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める工夫が設けられている。
b 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力の育成		
	【造形の要素の働きを理解することについて】	・「墨・水・筆の世界」の題材では、墨の濃淡、質感、空間の広がりなど、水墨画のよさや美しさを紹介しつつ、複数の作家の作品を取り上げ、造形の要素に関する着眼点を示し、より学びが深まるよう工夫されている。
	【造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解することについて】	・「レオナルド・ダ・ヴィンチ」の題材では、作家の多様な作品やアイディアを取り上げるとともに、作品の背景にある知識や表現技法に触れ、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解する観点を示し、より学びが深まるよう工夫されている。
《その他の項目》（各教科共通）		
	我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	P26「墨・水・筆の世界」、P31「一瞬で伝わる表現」、P38「レオナルド・ダ・ヴィンチ」、P41「5つのポイントから彦根屏風を読み解く」、P45「和の空間」、P46「役者絵の革命児・写楽」、P48「こわい仏、やさしい仏」、P68「暮らしを彩る」、P94美術史、P134「日本画を描く」P139「版画の種類」
	人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
	安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
	オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	P61「東京2020スポーツピクトグラム」 P63「東京オリンピック」ポスター
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	・作品の解説、生徒作品、及び制作方法などデジタルコンテンツを活用できるよう、複数のページに二次元コードが設けられている。
	ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインについて紙面で紹介している。

教科名	芸術
科目名	美術 I

発行者（略称）		日文	
教科書番号		美 I 702	
教科書名		高校生の美術 1	
(1) 内容			
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）			
【「表現」で感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想の題材】		・複数の題材において、多様な表現を取り上げるとともに、材料や用具の効果や表現方法の工夫を紹介するなど、生徒自らが主題を生成したり、表現形式の特性を生かしたりする際に参考となる工夫がされている。	
【「表現」で目的や機能などを考えた発想や構想の題材】		・「ポスターで伝える」の題材では、文字の工夫や様式の異なる表現を取り上げるとともに、アイデアを形にするまでの過程を紹介し、デザインの機能や効果などについて考え、創造的な表現の構想を練るための工夫がされている。	
【映像メディアの特性を踏まえ発想や構想の題材】		・「アニメーションの手法」の題材では、描画材の工夫やパペットなどの手法を紹介し、色光や視点、動きなどの映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練るための工夫がされている。	
【美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞】		・「光を捉える」の題材では、「光」や「陰影」が作品に与える効果を鑑賞の視点として多様な作品を紹介し、創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めるための工夫がされている。	
【生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞】		・「アントニ・ガウディ」の題材では、土地の風土や、自然物の造形の美しさを生かした作品の鑑賞を通して、自然と美術の関わり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考えるための工夫がされている。	
b 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力の育成			
【造形の要素の働きを理解することについて】		・「視点と表し方」の題材では、複数の視点から見た画面が組み合わせられて表現された作品を取り上げ、形や色彩、材料や光などの性質や、それらが人の感情にもたらす様々な効果などについて理解することを促す内容となっている。	
【造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解することについて】		・「日本美術」の題材では、独自の美意識や自然観、創作への知恵など日本美術のよさや特質を紹介し、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解することを促す内容となっている。	
《その他の項目》（各教科共通）			
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫		P26「日本美術」、P32「浮世絵版画の魅力」、P40「墨表現の可能性」、P53「レオナルド・ダ・ヴィンチ」、P66「祈りの形」、P90「アントニ・ガウディ」	
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫		記載なし	
安全・防災や自然災害の扱い		記載なし	
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫		P68・P73「東京オリンピック」ポスター、P71「東京2020スポーツピクトグラム」、P77「東京2020オリンピック・パラリンピック招致エンブレム」	
固定的な性別役割分担意識に関する記述等		記載なし	
(2) 構成上の工夫			
デジタルコンテンツの扱い		・二次元コードを配して、その題材についてさらに情報を得ることができるようにしており、紙面では伝えきれない情報量を効果的に追加している。	
ユニバーサルデザインの視点		・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・ユニバーサルデザインについて紙面で紹介している。	

教科名	芸術
科目名	美術 I

発行者（略称）		日文
教科書番号		美 I 703
教科書名		高校美術
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
【「表現」で感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想の題材】	・題材ごとに、作品を制作する際の作家の意図や表現の工夫、作品に関する問い掛けの言葉を記載するなど、生徒自らが主題を生成し、発想や構想するための工夫がされている。	
【「表現」で目的や機能などを考えた発想や構想の題材】	・「気づきに気づく」の題材では、デザインの発想に大切な「気づき」について取り上げ、デザインする際の考え方・つくり方・伝え方など、創造的な表現の構想を練るための多様な視点が紹介されている。	
【映像メディアの特性を踏まえ発想や構想の題材】	・「アニメーションの仕組み」の題材では、「アニメーション装置」や「プログラミングとアニメーション」などについて掲載し、絵や写真が動く原理について複数の側面から考えられる内容となっている。	
【美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞】	・「江戸の日常」の題材では、江戸と現代のにぎわいの違いなど、絵画を鑑賞する際の視点を示し、想像力を働かせながら、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めるための工夫がされている。	
【生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞】	・「タイポグラフィ」の題材では、多様な書体を取り上げ、それぞれの書体を比較できるようにし、文字の形や色から受ける印象やデザインの工夫について考え、自らの表現に生かすための工夫がされている。	
b 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力の育成		
【造形の要素の働きを理解することについて】	・資料「線や面で捉えて描こう」では、輪郭線、明暗、光のコントラストなど描くモチーフの捉え方を複数紹介しており、造形の要素の働きの理解を促す記載がされている。	
【造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解することについて】	・「継承と創造」の題材では、俵屋宗達の「風神雷神図屏風」とともに風神と雷神をモチーフとした他の作品を取り上げ、同一のモチーフの多様な表現を紹介することにより、全体のイメージや作風、様式などで捉えるための工夫がされている。	
《その他の項目》（各教科共通）		
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	P24「創造の扉 葛飾北斎」、P26「継承と創造」、P28「江戸の日常」、P46「運慶とミケランジェロ」	
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし	
安全・防災や自然災害の扱い	P72「避難所用簡易間仕切りシステム」	
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	P62「東京オリンピック」ポスター	
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし	
(2) 構成上の工夫		
デジタルコンテンツの扱い	・二次元コードを配して、その題材についてさらに情報を得ることができるようにしており、紙面では伝えきれない情報量を効果的に追加している。	
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・ユニバーサルデザインについて紙面で紹介している。	